

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 西神戸医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	30	対象	透I訓ガ	救臨が感地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	41,848	非該当	非該当	7：1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
425	-	45
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	470
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
397	-	397

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

神戸西地域における中核病院として、高度医療・急性期医療・結核医療等を安定的に提供するとともに、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携及び支援に取り組んでいる。また、地域がん連携拠点病院としての役割を担っている。
※平成29年4月に旧神戸市地域医療振興財団から移管。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度決算においては、新型コロナウイルス感染症対応に伴う医療機能の縮小や経費の増加により医業収支比率が下がった。また、同感染症関連補助金を一定確保は出来たが、経常収支比率も下がった。診療報酬の特例対応やDPC係数の増等により、入院・外来とも患者1人1日当たり収益は増加した。エネルギー価格高騰に伴う経費の増もあることから、収益確保のためにさらなる向上が必要である。

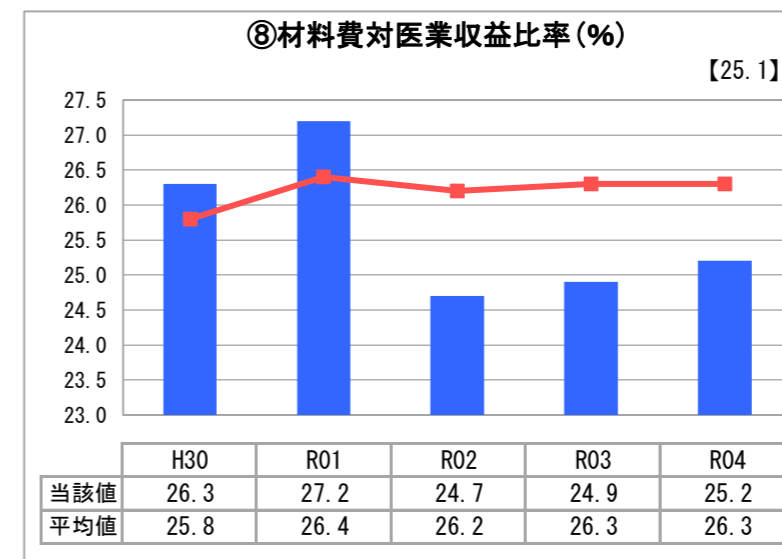
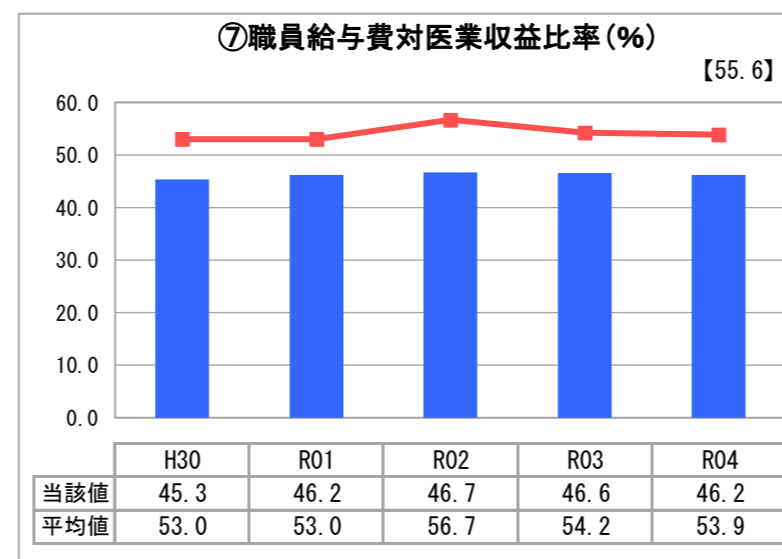
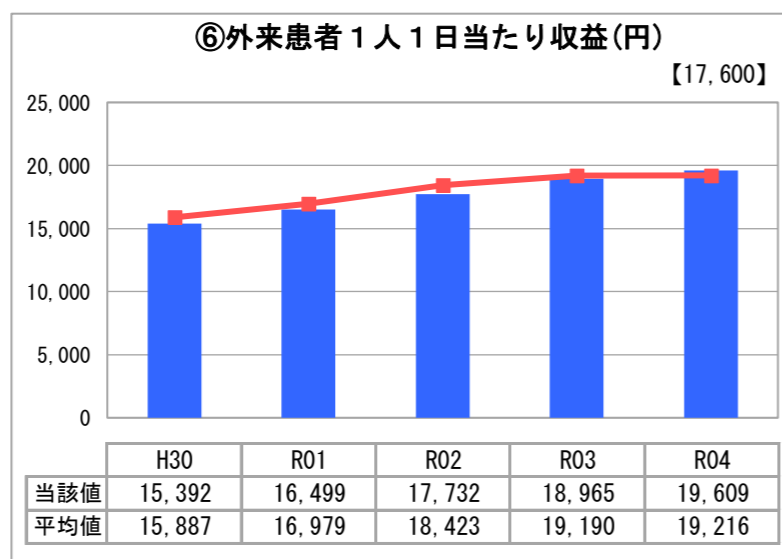
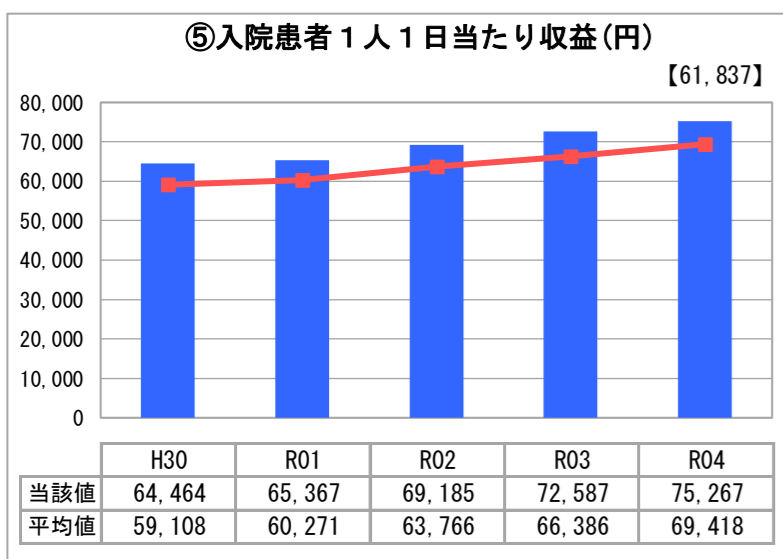
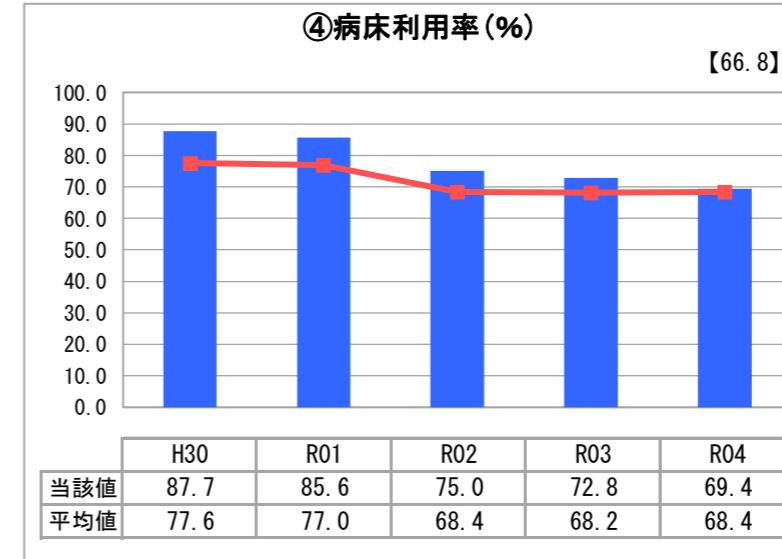
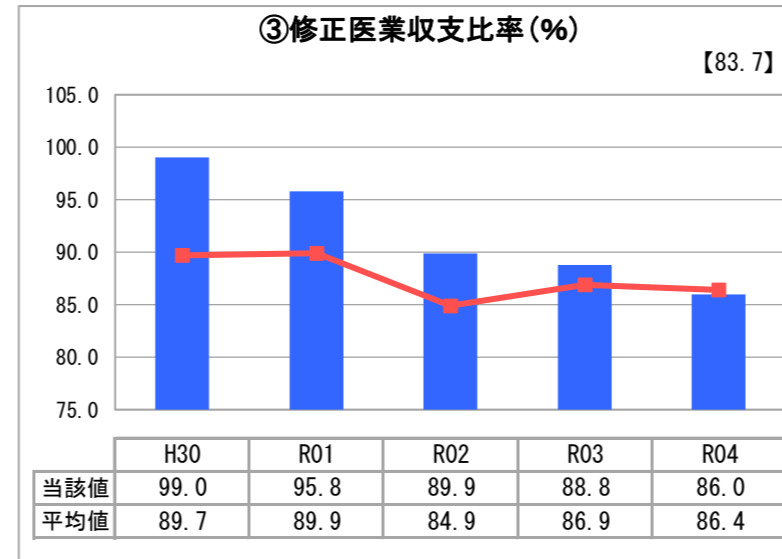
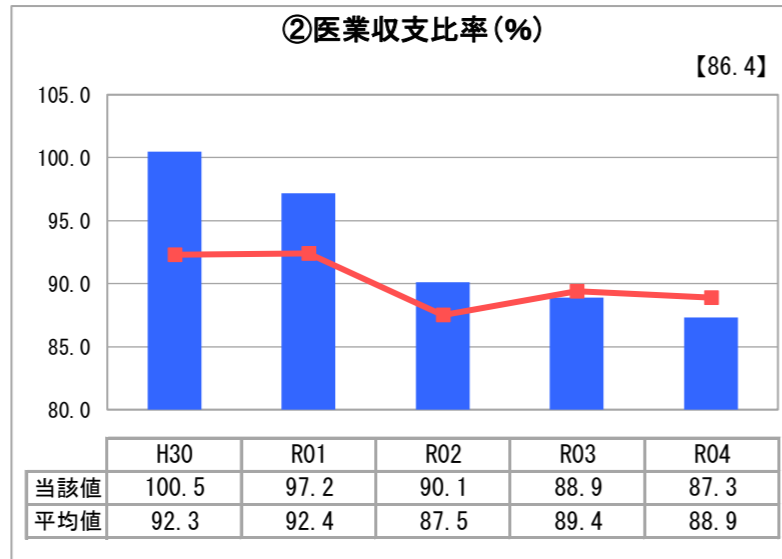
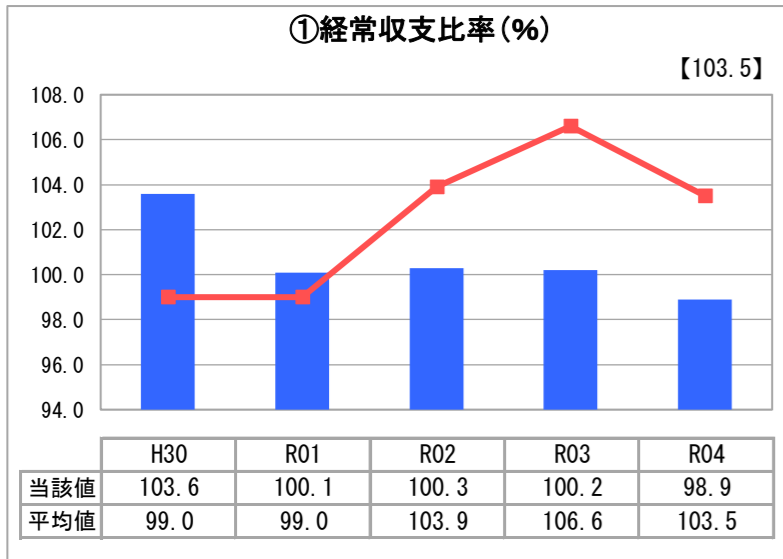
2. 老朽化の状況について

平成29年4月の移管に伴い、設立団体から病院建物の出資を受けたことで有形固定資産減価償却率は平均値を下回っている。また、移管以降に機器等整備を進めたことから器械備品減価償却率は平均値を下回っているが、増加傾向にあるため、計画的な更新を進めていく必要がある。また、病院建物についても築後29年が経過していることから、維持管理に努めており、今後も建物改修、設備更新を計画的に行っていくこととしている。

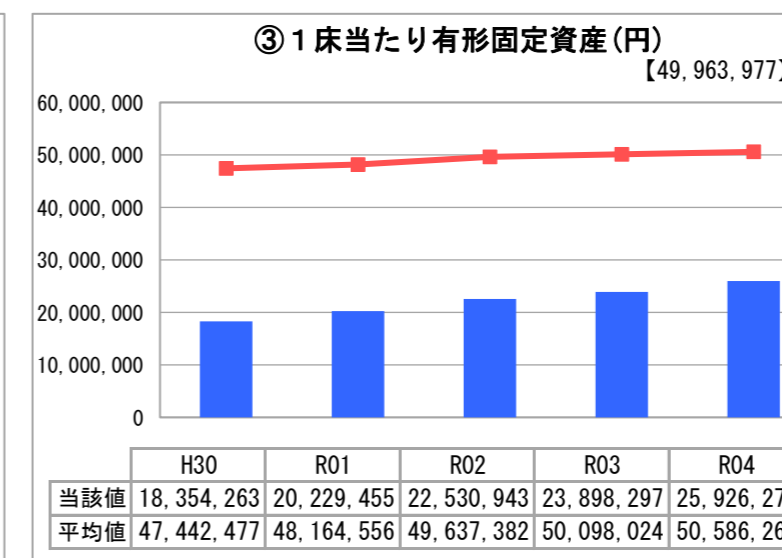
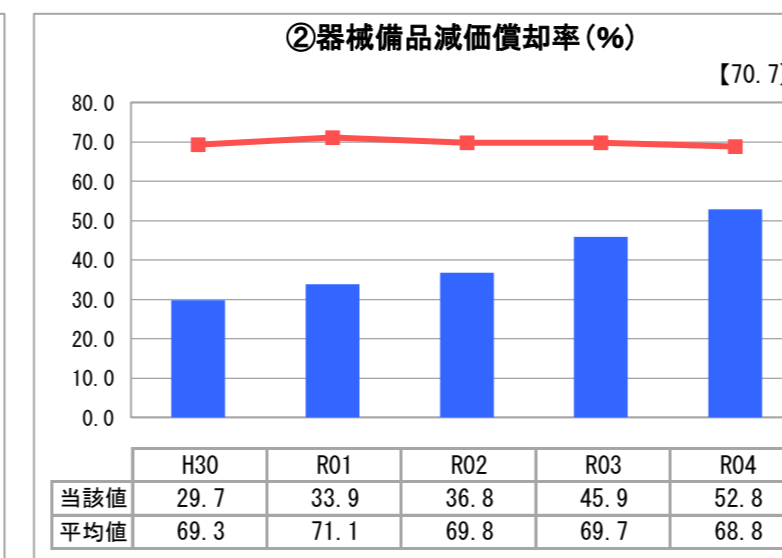
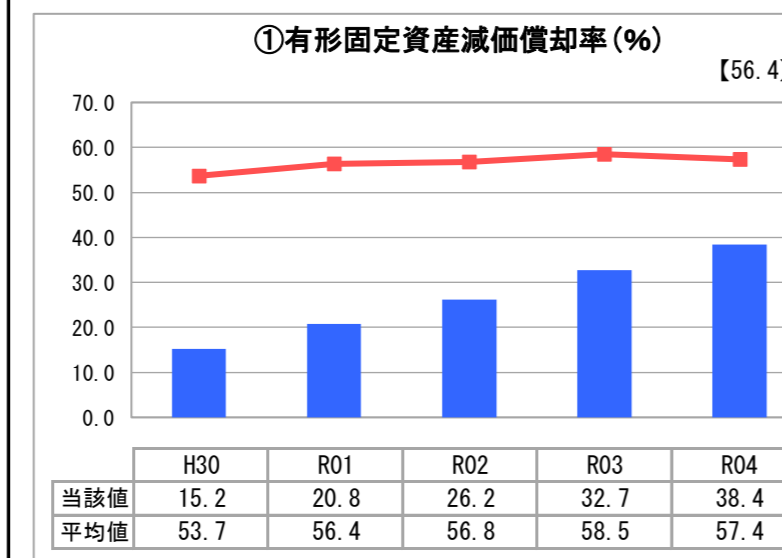
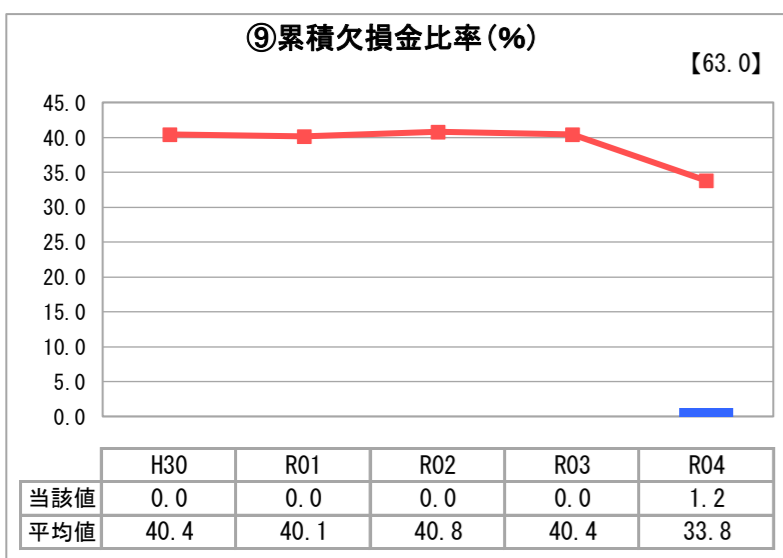
全体総括

1. に記載の通り、新型コロナウイルス感染症関連補助金等を一定確保したものの、医業収支の悪化により経常収支比率が100%を下回った。医業収支比率・経常収支比率を100%以上にするために、新たに算定可能な項目や加算が期待できる項目について積極的に検討を行い医業収益の確保に取り組むとともに、業務委託の内容見直しによる経費の削減や価格交渉による材料費の削減等に取り組んでいくところであり、今後もより一層の経営改善を図っていく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。